

# 私たちが 長く見て きた サル の ワケ



2024年

**7.14 (日) 13:30~16:30**

対象：どなたでも参加いただけます 定員：200名

会場

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-3-7  
東京エレクトロンホール宮城 6階 大会議室

参加費  
無料

プログラム

司会：辻 大和（石巻専修大学）

**講演1. ニホンザルの社会と生態：長期調査から見えてくる世界**

川添 達朗（NPO法人里地里山問題研究所/  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

**講演2. 国際共創による霊長類脳イメージングの新たな地平**

酒井 朋子（慶応義塾大学医学部）

**講演3. 長期保存される博物館の標本**

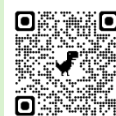
伊藤 毅（京都大学総合博物館）

**講演4. 個々の暮らし、此处だけでないところで見守る**

橋本（須田） 直子（京都大学ヒト行動進化研究センター）

コメント

話題提供者によるパネルディスカッション



主催：第40回日本霊長類学会大会実行委員会（お問い合わせ：psj40th@gmail.com）

後援：宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・石巻専修大学

協賛：公益財団法人仙台観光国際協会



霊長類学は、霊長類を対象とした総合学で、その専門領域は形態、系統、生態、社会、行動、心理、生理、遺伝、神経、実験動物、保全・福祉など様々な学問分野に及びます。その記念すべき第40回日本霊長類学会大会が、野生ニホンザルの長期調査地のひとつ、金華山島を擁する宮城県仙台市で開催されます。本シンポジウムでは、「長期継続研究」をキーワードに各研究分野のこれまでの成果を紹介し、ヒト以外の霊長類の魅力をも市民の皆様に広く知っていただきたいと思っております。

## 登壇者のご紹介

### 川添 達朗

(NPO法人里地里山問題研究所／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

2002年に宮城教育大学に入学後、金華山でニホンザルの調査を始め、現在まで継続。京都大学大学院に進学し2016年に博士（理学）を取得後、中国の中山大学に赴任し、アカゲザルなどの研究に着手。2019年に東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に異動し、人類学との学際研究やタンザニアでのチンパンジー調査を開始。現在は、NPO法人里地里山問題研究所で野生動物の生態調査をもとに自然と人とのかかわりについて研究を進めている。

### 酒井 朋子（慶応義塾大学医学部）

京都大学理学研究科博士後期課程修了（博士（理学））。2012年京都大学霊長類研究所研究員。2014年慶応義塾大学医学部特任助教。2016年Johns Hopkins Medicine海外特別研究員、Postdoctoral Fellow。2019年放射線医学総合研究所研究員。2021年慶応義塾大学医学部助教及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構国際戦略推進部主査。2024年文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）科学技術予測・政策基盤調査研究センター主任研究官、現在に至る。

### 伊藤 毅（京都大学総合博物館）

京都大学霊長類研究所において、霊長類をはじめとする脊椎動物の標本の管理に携わる。2022年より京都大学総合博物館において、動物全般の標本の管理や展示に従事している。研究活動においては、現在はニホンザルの形態とゲノムの地理学的変異を調べている。

### 橋本（須田） 直子（京都大学ヒト行動進化研究センター）

2006年に帯広畜産大学大学院（野生動物管理学）を修了後、京都大学霊長類研究所の研究生、非常勤職員を経て、2009年に技術職員に着任。2024年現在、京都大学ヒト行動進化研究センター技術専門職員として、霊長類の飼育管理ならびに施設管理に携わっている。

